

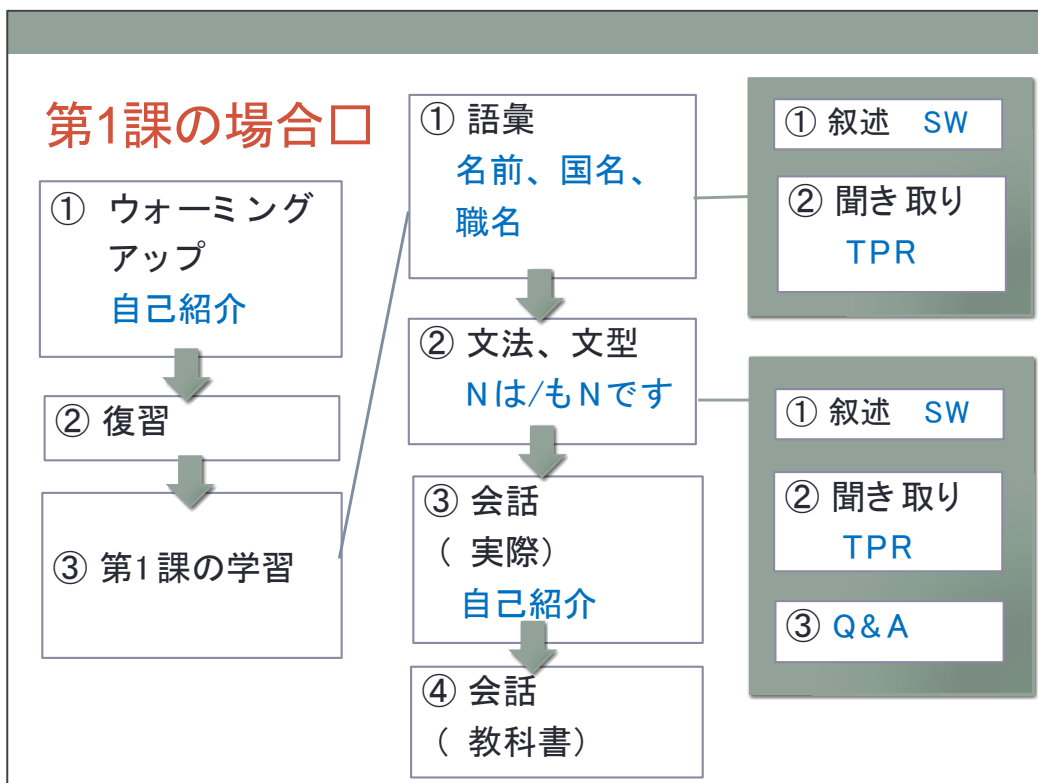
『みんなの日本語』話せるようにするための指導

1. 「教える」のか？「支援する」のか？

- 「教える」
教師が方法、結果に責任を持つ
- 「支援する」
学習者が方法、結果に責任を持つ

2. 教え方の流れ（基本）

- ① 語彙学習
- ② 文法学習
- ③ 運用練習（現実的な会話）
 - ・自分のことで練習（意味を知っている）
- ④ 確認（教科書のモデル会話等）
 - ・未知のことで確認（ことばを通して意味を知る）



3. 言語学習のテクニック（教授法）

1) ALM（オーディオ リンガル メソッド）

- 反復練習による習慣形成に基づく学習方法
- 『みんなの日本語』の練習 B、C

2) SW（サイレントウェイ）

- 学習者の気づきを重視した学習方法
- 導入に最適な方法
自分で音、形、意味を見つけることができる
- 語彙導入
 - ・教師がモデルを与えずに学習者に音や意味を理解させる
 - ・50 音図（音）と絵教材・実物（意味）を道具として使う
教師→意味を見せて、文字を示す
学習者→意味を理解しながら、発音し、文字を見る
意味を確認しながら、文字で書く

3) TPR（全身反応法）

- 聞く力を優先した学習方法
- 語彙の導入後の練習、確認に最適な方法
 - ・教師が音声で指示を与える
 - ・学習者は指示に対する動作で理解を示す
語彙導入の場合は（カルタ遊びのイメージ）
教師：「学生」
学習者：（「学生」の絵を指し示す）

4. 文法、文型の導入、練習、確認

1. 叙述 (SW)

教師：（絵カードを示す。50音図で助詞、「です」を指す）

学習者：タナポンさんは学生です。

2. 聞き取り (TPR)

教師：（絵カードを示しながら）タナポンさんは学生です。

学習者：（正しいなら）○のカードを上げる

3. 段階的な Q&A

1) 教師：タナポンさんは医者ですか、学生ですか

学習者：学生です

2) 教師：タナポンさんは学生ですか。

学習者：はい、学生です。

教師：ワットさんは医者ですか。

学習者：いいえ、医者じゃありません。学生です。

段階的なQ&A

① Q：～は～ですか、～ですか。

A：～です。

② Q：～は～ですか。

A：はい、～です。

A：いいえ、～じゃありません。～です。

③ Q：～は（疑問詞）ですか。

A：～です。

④ Q：どうしてですか。

A：～

5. 文法と文型

- みんなの日本語 1 で学習する文法

形（形式）：単文（名詞文、動詞文、形容詞文） 助詞 活用 接続

- みんなの日本語 1 で学習する文型は何でしょうか。

型＋使い方：例 ・Nの方がNよりAdjです

・V（辞書形） ことがあります

- 『みんなの日本語』の構成

単文と助詞

1 課	名詞文	～は～です
2 課	名詞文	これ、それ、あれ
3 課	名詞文	ここ、そこ、あそこ
4 課	動詞文	自動詞
5 課	動詞文	往来動詞
6 課	動詞文	動作動詞 1
7 課	動詞文	目的語を二つとる動詞
8 課	形容詞文	い形容詞、な形容詞
9 課	～は～が文	すきです、わかります
10 課	動詞文	存在文、所在文
11 課	動詞文	数量
12 課	文型	比較
13 課	～は～が文	ほしい、たい

14 課	て形	～ください、～ています
15 課	て形	～てもいいですか、～ています
16 課	て形	～て、～てから
17 課	ない形	～ないで、～なければなりません
18 課	辞書形	～ことができます、～まえに
19 課	た形	～ことがあります、～たり
20 課	普通形	普通体
21 課	文型	～と思う、～と言う
22 課	文型	連体修飾
23 課	文型	～とき、～と
24 課	文型	授受表現
25 課	文型	～たら、～ても

6. 他の課の教え方の例

● 第5課

- | | | | |
|--------------|----------------|---------|--------|
| ① 語彙 | ・ 場所 | ・ 交通手段 | ・ 同伴者 |
| ② 文法 (叙述) | ・ 場所へ | ・ 交通手段で | ・ 同伴者と |
| | ・ 日時 (×) ・ に | | |
| ③ 文法 (Q&A) | ・ はい/いいえ | | |
| | ・ どこへ | ・ なんで | ・ だれと |
| | ・ いつ | | |
| ④ 会話 (実際) | | | |

● 第14課

- | | |
|-----------------|------|
| ① 語彙 | ・ 動詞 |
| ② 文法 (叙述) | ・ て形 |
| ③ 文法 (TPR) | |
| ④ 会話 (ロールプレイ) | |
| ⑤ 会話 (教科書) | |
- | |
|-------------------|
| ③ 文法 (叙述) ~ています |
| ④ 会話 (実際) |

● 第19課

- | | | | |
|-------------|-------------|-------|----------|
| ① 語彙 | ・ 観光 | ・ 活動 | ・ 絵 / 写真 |
| ② 文法 (叙述) | ・ た形 | | |
| ③ 文型 (叙述) | ・ ~たことがあります | ・ 読み物 | |
| ④ 会話 (実際) | ・ 経験談 | | |
| ⑤ タスク | ・ 経験比較 | | |

私は京都に行ったことがあります。きょ年の秋に、中国から来た友だちと行きました。駅の近くの旅館にとまりました。お寺をたくさん見ました。にわの木がとてもきれいでした。

『まるごと』実際の生活と結びつける指導

1. 「タスク型」の留意点

- 学習者による目的の違い
 - ・日本語の知識はあるが、使うことに慣れていない学習者
⇒ タスクをすれば使えるようになる
 - ・日本語の知識も少なく、使えない学習者
⇒ タスクの前に語彙を増やす学習が必要（『まるごと』が役に立つ）
- 活動をしながら理解が深まり、覚えていくように工夫する

2. 教え方の例

- 第2課の例
 - ① テキストに沿って学習
 - ② 叙述練習（p28の絵） ★丁寧に！
-
- ③ 実際の状況で練習（そこにいる人の描写）
 - ④ 写真を見せて家族を紹介する練習
 - ⑤ 家族の紹介（プレゼンテーション）

② 叙述練習（p28の絵）

例：シンさん

椅子に座っています。飲み物を飲んでいきます。

青いシャツを着ています。

グレーのズボンをはいています。

男の人と話しています。

その人はジーンズをはいています。

⇩（チャレンジ）

青いシャツを着て、グレーのズボンをはいています。

ネクタイはしていません。

椅子に座って飲み物を飲んでいきます。

ジーンズをはいている男の人と話しています。

●第3課の例

- ① テキストに沿って学習
 - ② 叙述練習とQ&A練習 (p34、p35の写真)
-

- ③ 和食について話す
 - ・調査
 - ・リストアップ
 - ・結果の比較、分析、
- ④ 「暑気払い」の計画
- ⑤ 店の予約

●第8課の例

- ① テキストに沿って学習
 - ② 叙述練習 (p68の絵)
-

- ③ 実際のイベントについて話す
 - ・板橋花火大会について情報収集、ちらしで確認
- ④ 花火大会の開催日時等について説明する練習
- ⑤ 花火大会の発表 (ミニポスター)